

困難な問題を抱える若年女性支援のためのセミナー

令和4年2月8日（火）近畿・中国・四国ブロック <オンライン開催>

【事例紹介講演2】

自死念慮を含む相談対応 京都自死・自殺相談センターの場合

認定NPO法人 京都自死・自殺相談センター
発信委員長 中川結幾

京都自死・自殺相談センター

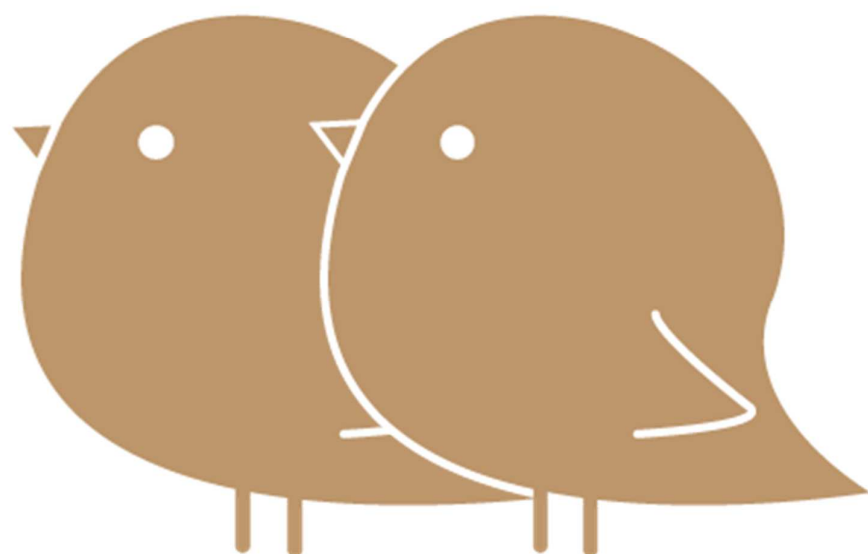
私たちは、自死の苦悩の根底には、絶望的な孤独があると考えています。その孤独が突きつけられ、強くその孤独を感じた時に、人は「死にたい」と思わざるを得ないのです。

一方、たとえ「死にたい」と思ったとしても、誰かの温もりを強く実感することができれば、その孤独感は幾分か和らぎます。人は他者との温かなつながりを感じることで、絶望的な孤独からしばし解放され得るのです。

そこで私たちは、たとえ絶望的な孤独を突きつけられたとしても、その孤独が少しでも和らぐように、自死の苦悩を抱える方の心の居場所づくりをしています。

また、一つの価値で覆いつくされた世界は、その価値に合わない誰かを孤独に追いやります。だからこそ、自死の苦悩を抱える方の心の居場所を、この世界の多様性を彩る一つとすることで、多様な価値がそれぞれに尊重される世界をめざします。

Sotto (そっと) そばにいる



相談センターが提供するもの

誰にも言えない本音を漏らせる場

相談事業



電話相談



メール相談

＜対象＞

死にたいほどの苦悩を抱えた方

Sottoメール相談



メールで伝えて
死にたい気持ち

一通一通を大切に読ませていただきます。
専門の相談員が秘密厳守でお応えします。
相談は無料です。

現在 **受付中** です

ご相談の流れと注意事項をご確認の上、こちらからお申し込みください。

 [メール相談をする](#)

ご相談の流れ

相談する

相談する

電話相談

Sottoメール相談

死にたいほど悩んでいる

大切な人を亡くした

家族や友人が悩んでいる

悩んでいる人の力になりたい

Sotto

メール相談

★こちら

お問い合わせ

死にたいほどの悩みを 抱える方のために



おでんの会/ごろごろシネマ

<対象>

死にたいほどの苦悩を抱えた方

Special Theater 2

さいがんじ 西岸寺

〒612-088 伏見区深草道楽橋2丁目438-1

日程

2018 11/25(日)

タイムスケジュール

14:00 開場
14:20～14:30 開会あいさつ
14:30～17:00頃 映画上映
17:00～17:30 語り合う場
(※自由にお帰りにいただいてもかまいません。)
17:30～17:40 閉会あいさつ

歴史あるお寺の本堂で、ごろごろしながら映画を観る・・・そんなことできるの？できます、ごろごろシネマなら。藤森駅近くの町中に佇むお寺は、この日だけ映画が流れるシネマへ変身。広々とした本堂で日曜の昼間にごろごろ。おまけに晴れるといいなあ。うーん、これ書いてる今から楽しみになってきました。

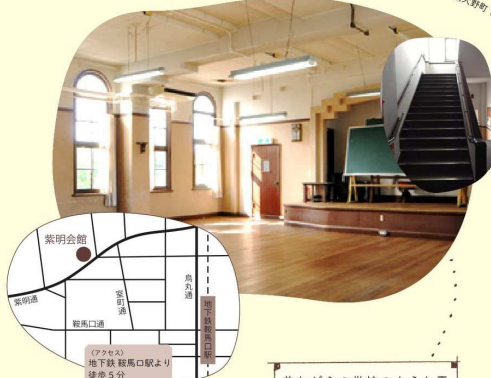


6

Special Theater 3

@紫明会館

〒603-8163 北区小山南大野町1



日程

2019 2/2(土)

タイムスケジュール

18:00 開場
18:20～18:30 開会あいさつ
18:30～21:00頃 映画上映
21:00～21:30 語り合う場
(※自由にお帰りにいただいてもかまいません。)
21:30～21:40 閉会あいさつ

昔ながらの学校のような雰囲気のある会場です。学校が好きな人も嫌いな人も、子供の時はできなかった、夜の学校の映画上映会へようこそ。案内状は、このパンフレット。体育館のように広々とした講堂を贅沢に使って、映画の世界に浸りませんか。私たちと一緒にすごしませんか。

7

間接支援事業



シンポジウム、研修提供など

＜対象＞
すべての方

メール相談件数(2021年度)

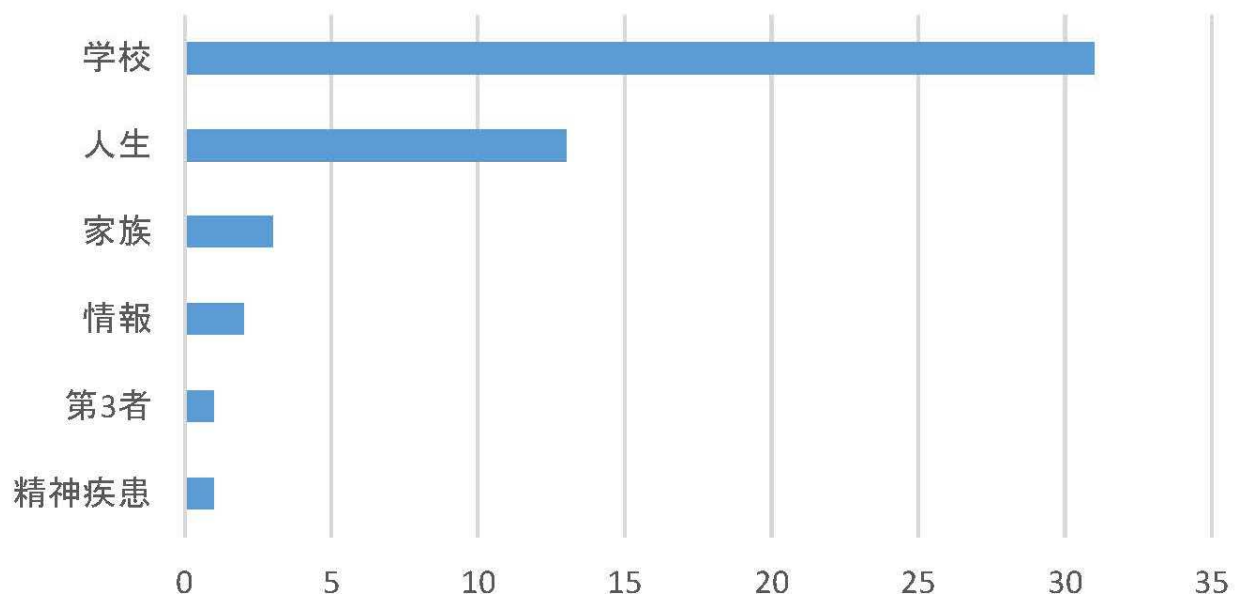
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年 1月
男性	18	18	9	47	69	43	64	67	70	42
女性	70	66	66	68	62	128	164	128	136	127
不明	29	18	17	30	19	36	46	27	48	69
LGBT	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2
合計	117	102	92	145	150	207	274	222	263	240

見えてきたこと

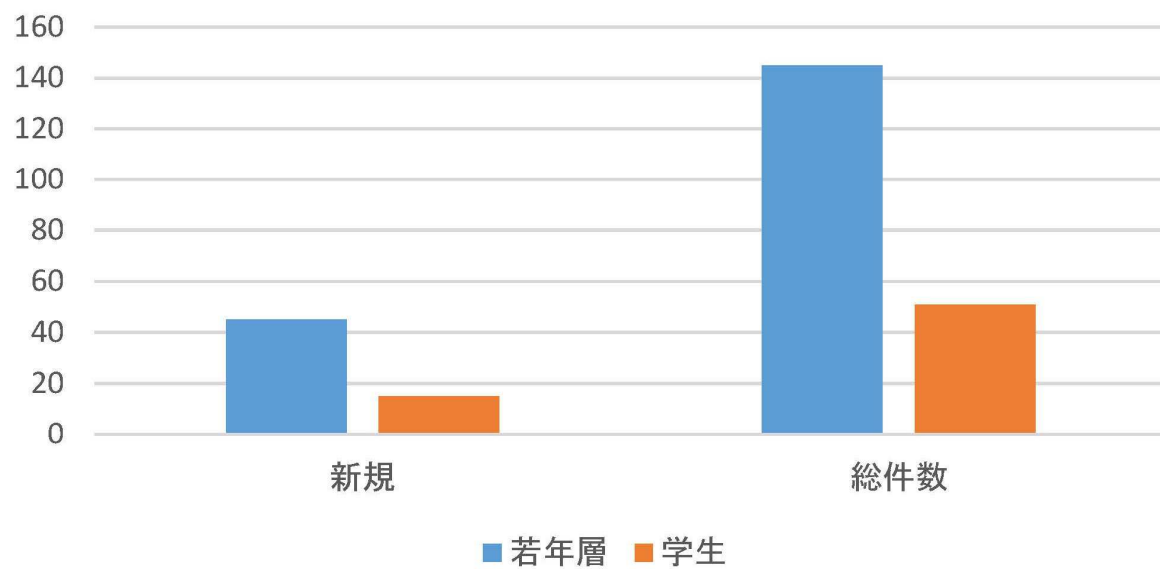
○家族や友人に対する相談対応の相談が増加

○リスクの高いところへの支援は必須であるが、課題解決の支援では
こぼれ落ちる人がいる

内容傾向(学生内訳,主訴)



若年層数



相談事例 2

仕事がしんどすぎて、辞めたいけど辞められなくて、毎朝、このまま電車で飛び込めたらどんなに楽だろうか、そうやって夜中までぼろぼろになりながら毎日働いています。はっきり言ってブラックですし、同僚も皆限界なので常にピリピリしていて。協力もせずに足のひっぱりあいばかりです。だれもいないところへ行きたいです。消えたい。

返信例 2

心も体もぼろぼろになるくらい、ひどい環境でずっと頑張ってきたのですね。消えたい気持ちだとありましたが、それだけもう誰にもあいたくなかったりと、人間関係に疲れ果てるような気持ちなのかと思います。辞められないというのは、経済的な事情であったり転職の不安もあるのかもしれません。退職を言い出せないような圧力というか、そういった難しさもあるのでしょうか。

特定非営利活動法人 **Sotto**
京都自死・自殺相談センター



075-365-1600



so-dan@kyoto-jsc.jp



<http://www.kyoto-jsc.jp>

